

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和5年第52週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (52 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 3 例。
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例、梅毒 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	つつが虫病	宮崎市	70歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
		小林	20歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			60歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	30歳代	女	腸管アメーバ症	下痢、粘血便、腹痛、大腸粘膜異常所見
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	発熱、肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	梅毒性バラ疹
			50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結
		延岡	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹

### 《前週との比較》

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 3,572 人(定点当たり 69.8)で、前週比 97%とほぼ横ばいであった(年末含む)。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 292 人(5.0)で、前週比 132%と増加した。延岡(11.3)、日向(6.2)、都城(5.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

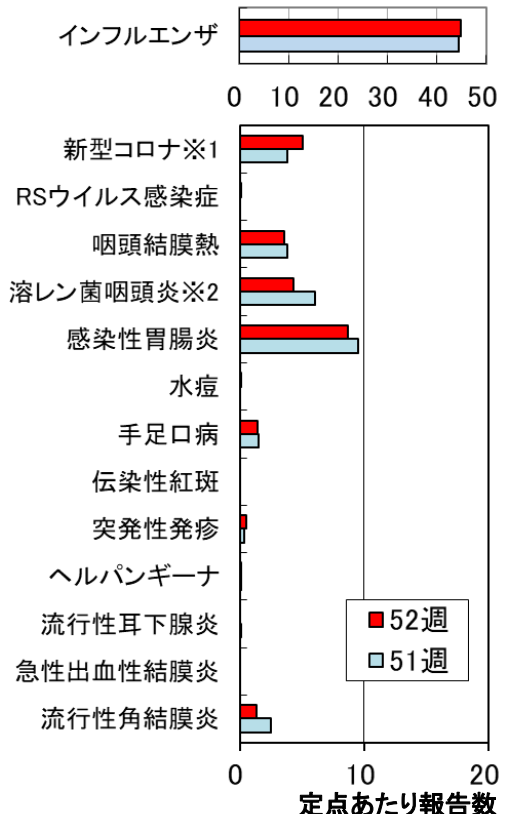
##### 【インフルエンザ】

報告数は 2,602 人(44.9)で、前週比 101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(6.8)の約 6.6 倍であった。延岡(87.0)、中央(59.0)、小林(48.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

##### 【咽頭結膜熱】

報告数は 130 人(3.6)で、前週比 94%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.63)の約 5.7 倍であった。都城(6.8)、中央(6.0)、宮崎市(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 6 歳が全体の約 9 割を占めた。

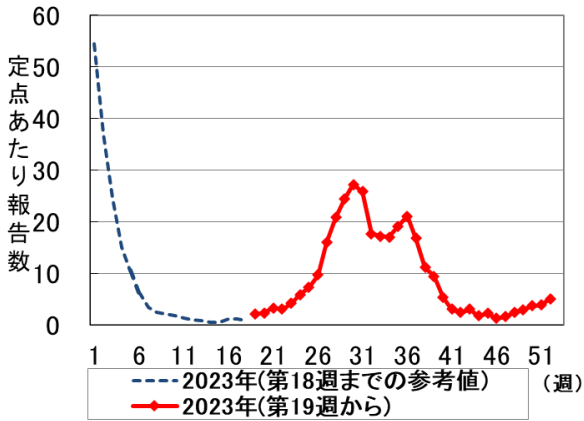
\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均



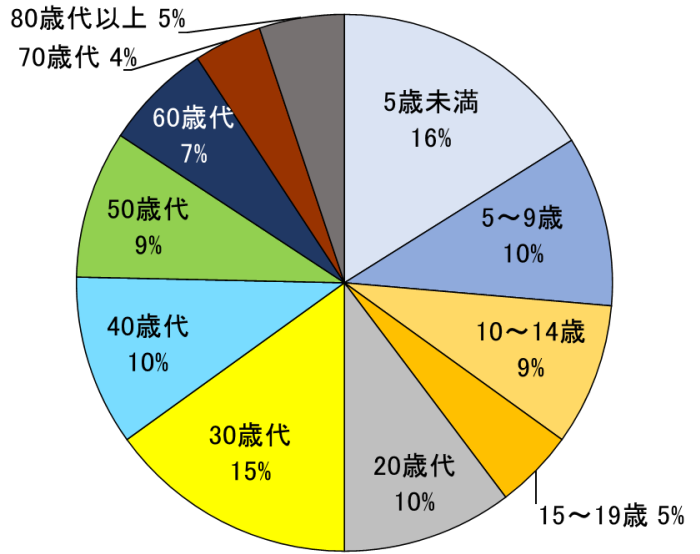
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症  
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

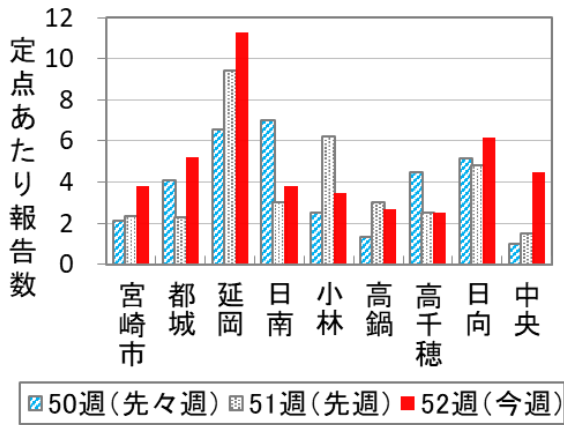
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第52週)

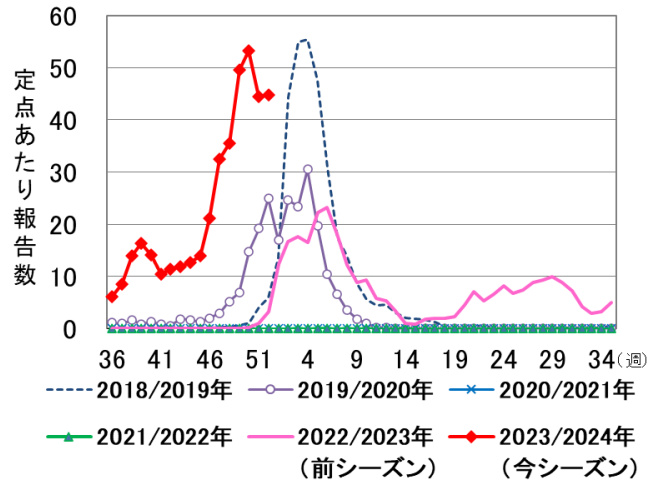


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

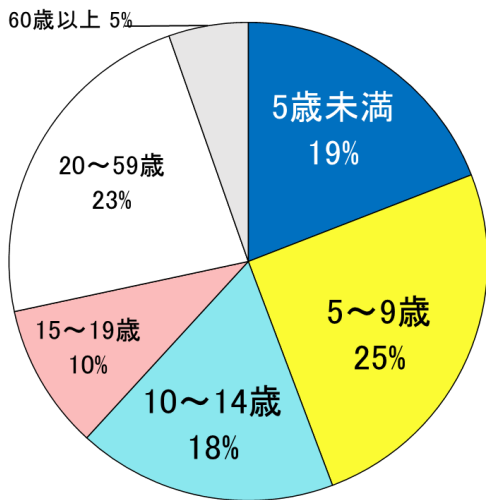


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

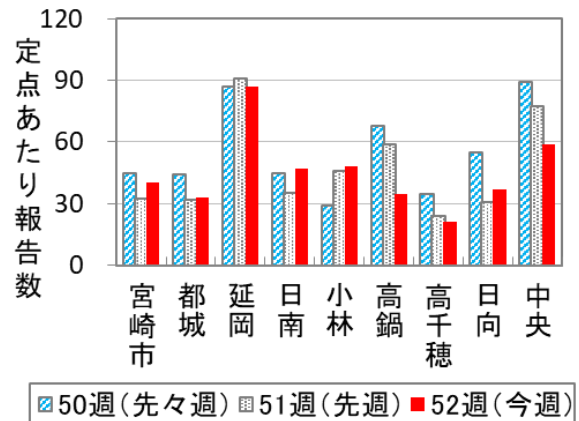
インフルエンザ 発生状況



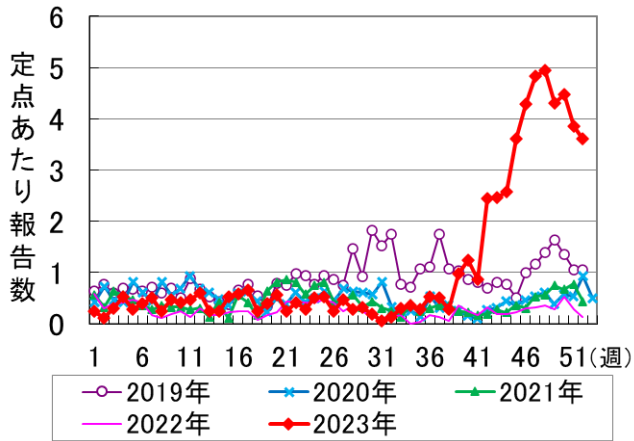
インフルエンザ年齢群別グラフ(第52週)



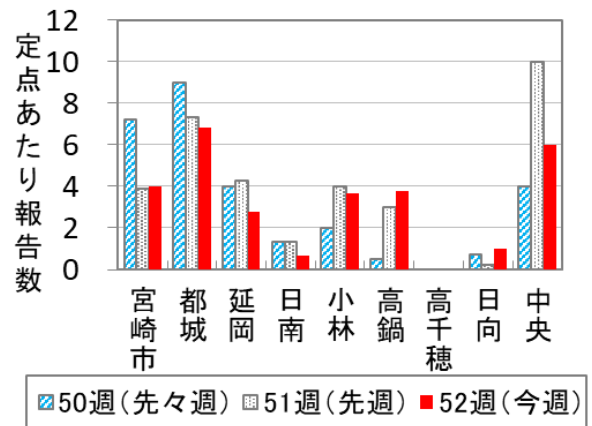
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(40.4)、咽頭結膜熱(4.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.4)
都城	インフルエンザ(32.9)、咽頭結膜熱(6.8)
延岡	インフルエンザ(87.0)
日南	インフルエンザ(47.2)
小林	インフルエンザ(48.3)、咽頭結膜熱(3.7)
高鍋	インフルエンザ(34.5)、咽頭結膜熱(3.8)
高千穂	インフルエンザ(21.0)
日向	インフルエンザ(37.0)
中央	インフルエンザ(59.0)、咽頭結膜熱(6.0)、 手足口病(9.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

## ✚ 全国 2023 年第 51 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	271 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	42 例		
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	2 例	Q熱	1 例
	つつが虫病	20 例	デング熱	5 例	レジオネラ症	36 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	12 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	27 例	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	48 例	水痘(入院例)	7 例
	梅毒	184 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	20 例		

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 87%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザと手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 114, 126 人(23. 1)で前週比 77%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(5. 8)の約 4. 0 倍であった。宮崎県(44. 4)、宮城県(39. 1)、大分県(37. 7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 22, 529 人(4. 6)で前週比 110%と増加した。北海道(10. 7)、山梨県(9. 7)、長野県(8. 6)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第52週(12月25日～12月31日)

疾病名		第51週	第52週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2577	2602	646	329	609	236	193	207	42	222	118
	定点当り	44.43	44.86	40.38	32.90	87.00	47.20	48.25	34.50	21.00	37.00	59.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	222	292	61	52	79	19	14	16	5	37	9
	定点当り	3.83	5.03	3.81	5.20	11.29	3.80	3.50	2.67	2.50	6.17	4.50
RSウイルス感染症	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	139	130	40	41	11	2	11	15		4	6
	定点当り	3.86	3.61	4.00	6.83	2.75	0.67	3.67	3.75	0.00	1.00	6.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	217	154	84	26	9	17		7		7	4
	定点当り	6.03	4.28	8.40	4.33	2.25	5.67	0.00	1.75	0.00	1.75	4.00
感染性胃腸炎	報告数	343	313	116	43	20	40	51	8	3	24	8
	定点当り	9.53	8.69	11.60	7.17	5.00	13.33	17.00	2.00	3.00	6.00	8.00
水痘	報告数		2	1			1					
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	54	50	19	6		2	3	2		9	9
	定点当り	1.50	1.39	1.90	1.00	0.00	0.67	1.00	0.50	0.00	2.25	9.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	19	9		3	1	2	1		2	1
	定点当り	0.39	0.53	0.90	0.00	0.75	0.33	0.67	0.25	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1				1					
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	8	3	3	2						
	定点当り	2.50	1.33	1.00	1.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～52週保健所受理分)

2類感染症	結核	107例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27例	腸チフス	1例
	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	12例
4類感染症	日本紅斑熱	14例	レジオネラ症	8例
			つつが虫病	33例(3)
5類感染症	アメーバ赤痢	4例(1)	ウイルス性肝炎	7例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	5例
	侵襲性肺炎球菌感染症	15例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	2例
			百日咳	5例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例(1)
			梅毒	177例(4)

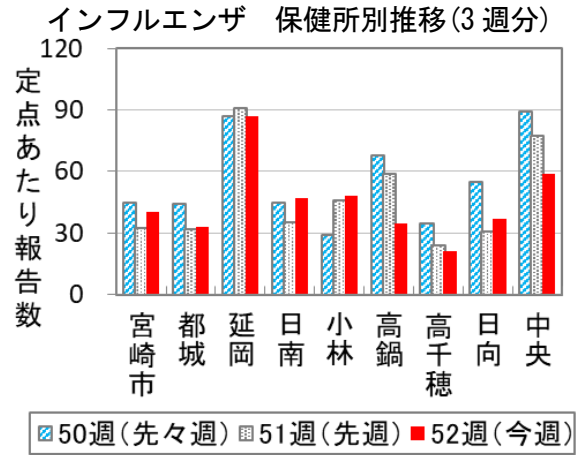
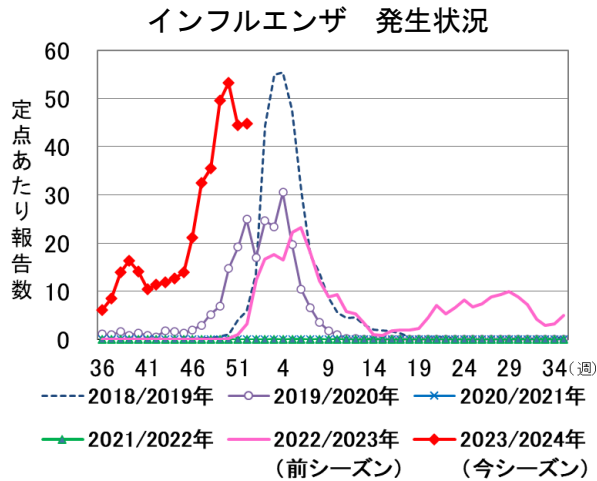
( )内は今週届出分、再掲

## インフルエンザ情報《県内第 52 週、全国第 51 週（再掲）》

### □ 県内第 52 週インフルエンザ発生動向

12月25日～12月31日までの1週間で2,602人(44.9)の報告があった。前週比101%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点あたり平均値\*(6.8)の約6.6倍であった。

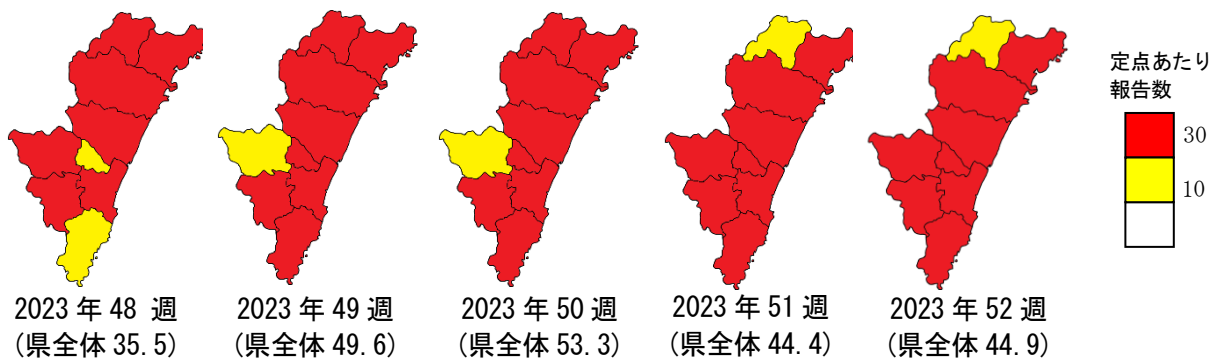
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



年齢群別割合の推移(2023年第48週～第52週)

年齢群	2023年第48週	2023年第49週	2023年第50週	2023年第51週	2023年第52週
5歳未満	19%	19%	17%	19%	19%
5～9歳	25%	29%	33%	33%	35%
10～14歳	18%	21%	24%	24%	23%
15～19歳	10%	9%	6%	6%	5%
20～59歳	23%	17%	15%	15%	15%
60歳以上	5%	5%	5%	3%	3%
総人数	2,602人	2,577人	3,089人	2,879人	2,059人
報告週	52週	51週	50週	49週	48週

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2023年第48週～第52週



### □ 全国第 51 週インフルエンザ発生動向

12月18日～12月24日までの1週間で114,126人(23.1)の報告があった。前週比77%と減少し、宮崎県(44.4)、宮城県(39.1)、大分県(37.7)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の16%、5-9歳が29%、10-14歳が21%、15-19歳が8%、20-59歳が22%、60歳以上が4%であった。